

松波小学校だより

第5号

令和7年9月1日

能登町立松波小学校

「新たな季節のはじまりに」

長い夏休みが明け、子どもたちのにぎやかな声が学校に戻ってきました。登校してくる子どもたちの笑顔や日焼けした顔には、夏の思い出やたくましさを感じられ、頼もしく思います。久しぶりに友だちや先生に会い、笑顔であいさつを交わす姿に、学校の本来の姿が戻ってきたことを感じています。

2学期は、学習面でも生活面でも、子どもたちが大きく成長する時期です。相撲大会、マラソン大会、宿泊体験学習、バス遠足など、多くの行事を通して、友だちと協力し合う経験や、自分の力を発揮する場面が増えていきます。失敗や悩みもまた、成長の一部です。一人ひとりが自分らしく、前向きに挑戦できるよう、学校全体で支えていきたいと思います。

また、9月1日は「防災の日」です。1923年の関東大震災にちなんで制定されたこの日は、災害への備えや命の大切さについて考える日として、全国的に防災の取組が行われています。本校でも能登半島地震を踏まえ9月3日に避難訓練を実施し、「自分の命を自分で守る」意識を育てる教育を大切にしていきます。ご家庭でも、再度いざという時の行動や集合場所など、話し合い確認していただけると幸いです。

季節の変わり目で、気温の差も大きくなってきます。夏の疲れが出やすい時期でもありますので、基本的な生活リズムを整え、心と体の健康を大切に過ごしていきましょう。

2学期も、保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、子どもたちの健やかな成長を支えてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



松波小学校

校長 宮本 秀人

5月頃、5・6年生がプランターにジニア・マリーゴールド・ヒマワリ・フウセンカズラを植えました。千葉県流山市立南流山第2小学校の皆さんから送っていただいた種です。この酷暑にも負けずに、きれいな花を咲かせています。

